

事業の整備効果

交通混雑の緩和

滋賀県内における国道1号は「日常的に混雑している箇所」が多く、朝夕の通勤・通学時間帯を中心に慢性的な交通混雑が発生しています。

栗東水口道路の整備により、環道の交通混雑の緩和が期待されます。また、栗東湖南 IC と接続することから名神高速道路へのアクセス性が向上し、広域的な連携強化等に寄与します。

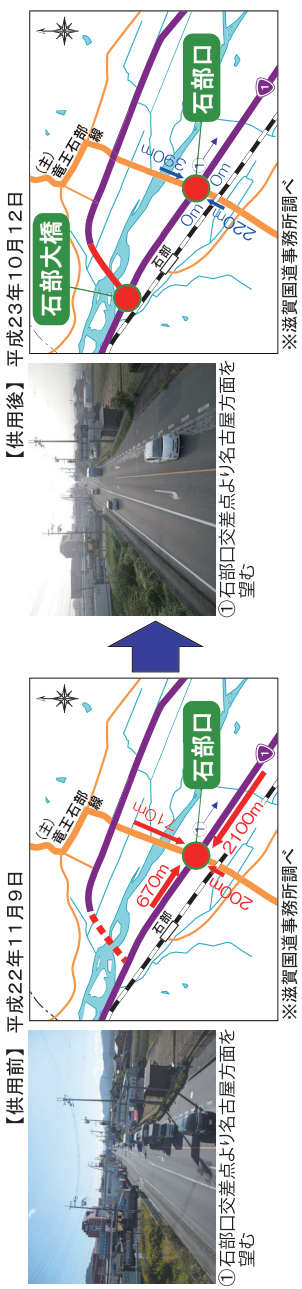
国道1号の交通渋滞の状況



出典：滋賀国道事務所調査結果（調査日：平成23年10月12日）

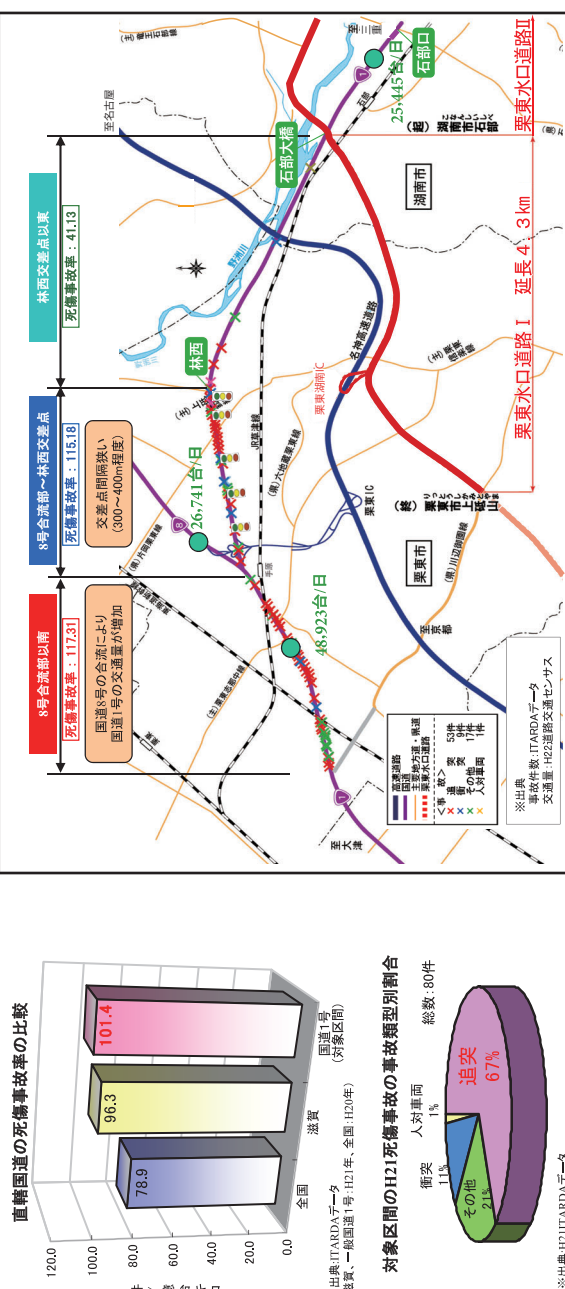
渋滞が緩和した石部口交差点

●石部大橋側部部の供用により、国道1号石部口交差点の東西方向の渋滞（約2km）が解消し、南北方向の渋滞が緩和しました。



交通安全の確保

- 国道1号の死傷事故率は、滋賀県全体より高く、渋滞に起因する追突事故が6割を超えています。
- 交通量が多い国道8号との合流部では、死傷事故率が約117件/億台キロで、国道1号（対象区間）の死傷事故率を上回っています。
- 栗東水口道路の整備により交通の分散が図れ、安全性の向上が期待されます。



栗東湖南 IC



国道1号

水口道路
栗東水口道路



事業の目的

国道1号は東京都中央区日本橋を起点とし、大阪府大阪市に至る約769kmの幹線道路であり、日本の経済、産業活動を支える重要な役割を果たしています。

滋賀県内の国道1号は、甲賀市から大津市までを通過し、地域の経済、産業を支えるとともに、地域内を連結する生活道路として大きな役割を担っています。しかし、近年の交通量の増加に伴い交通混雑が慢性化し、治道の道路交通環境が悪化しています。

水口道路、栗東水口道路は、国道1号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善を目的に計画された地域高規格道路です。

水口道路

甲賀市土山町大野から湖南市岩根までの延長11.0kmの環道拡幅・バイパス事業です。昭和41年度から事業着手し、1工区は平成7年3月に全線を4車線で開通し、3工区は平成13年4月に暫定2車線の開通を行いました。

また、2工区は平成28年3月に全線3.6kmを4車線で開通しました。

道路規格・・・第3種第1級
設計速度・・・80km/h
事業化・・・昭和41年度
開通延長・・・57km（4/4車線：1工区）
36km（4/4車線：2工区）
17km（2/4車線：3工区）

栗東水口道路Ⅱ

湖南市岩根から湖南市石部までの延長6.9kmのバイパス事業です。平成12年度に事業着手し、平成20年3月に6.9kmのうち、6.2kmを暫定2車線で開通し、平成28年3月に石部大橋の延長0.7kmが暫定2車線で開通しました。

道路規格・・・第3種第1級
設計速度・・・80km/h
事業化・・・平成12年度
開通延長・・・69km（2/4車線）

栗東水口道路Ⅰ

湖南市石部から栗東市上砥山までの延長4.3kmのバイパス事業で名神高速道路との接続（栗東湖南IC）を計画しています。平成元年度に事業着手し、平成28年3月に4.3kmのうち（Ⅰ期区間）延長3.4kmを暫定2車線の開通し、令和7年8月に（Ⅱ期区間）延長0.9kmを暫定2車線で開通しました。

道路規格・・・第3種第1級
設計速度・・・80km/h
事業化・・・平成元年度
開通延長・・・43km（2/4車線）